

てらいえきしゅうへん  
**JR寺井駅周辺地区**  
 (石川県能美市)

- 計 画 期 間 平成 21 年度～平成 25 年度
- 面 積 94 h a
- 交付対象事業費 3,200 百万円
- 市人口 49,531 人

**ポイント**

JR寺井駅を起点としたまちなかの回遊性の向上や、住民参加のまちづくり活動を通じた駅周辺の賑わいの創出

**地区概要**

駅、駅東西広場、歩道を整備するなど駅周辺整備と併せたソフト事業を展開し、総合的なまちづくりを図る。

**目 標**

JR寺井駅を中心とした交通結節点の強化及び歩行ネットワークの充実、住民主体のまちづくりによって、人々が集い賑わう魅力的な駅まちづくりを図る。

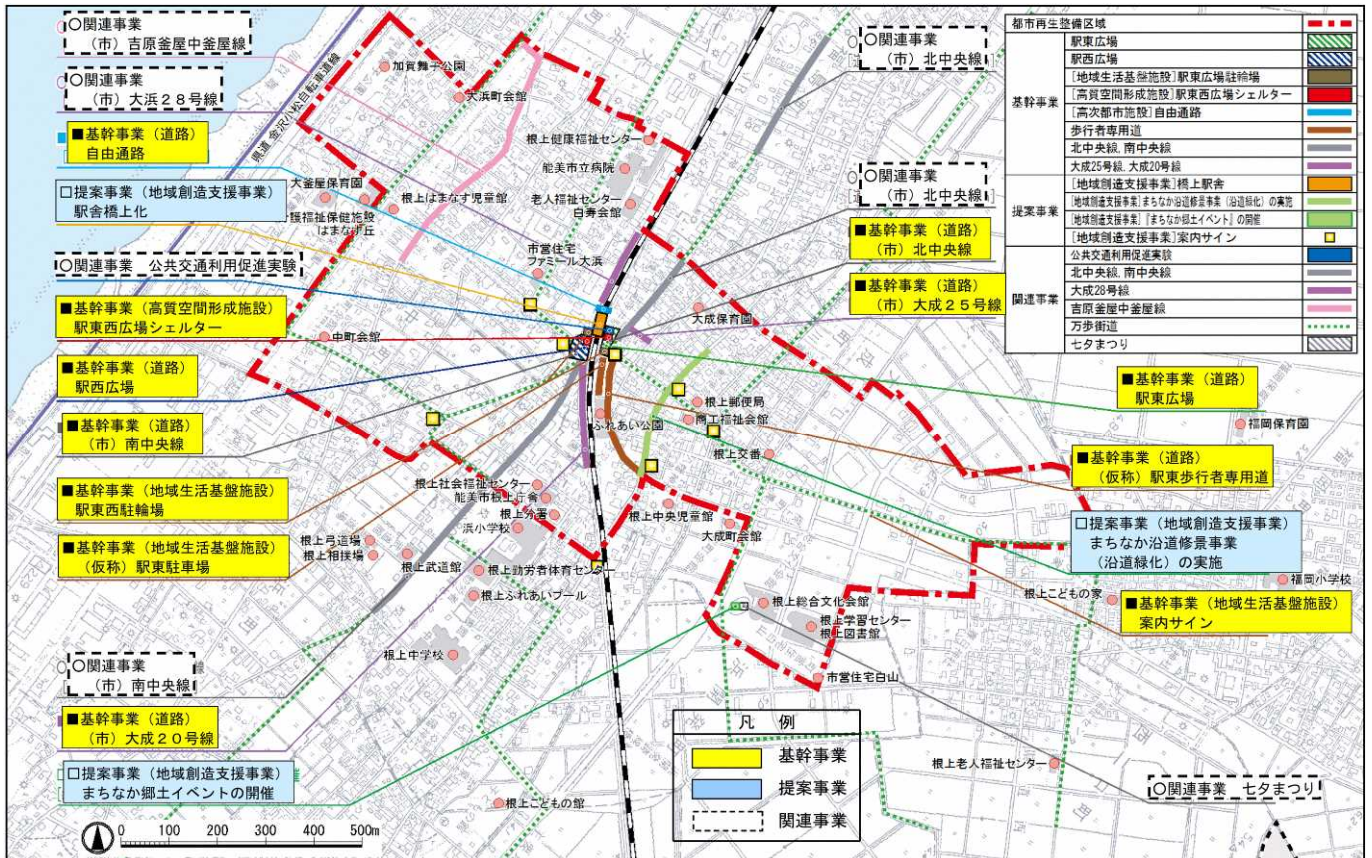
**指 標**

駅周辺整備等のハード整備やまちづくりソフト事業による、施設利用者や歩行者数を指標とした。

JR寺井駅利用者数	890 人 (H19)	→	915 人 (H25)
駅周辺の歩行者数	532 人 (H19)	→	590 人 (H25)
駅周辺公共施設の利用者数	201,700 人 (H19)	→	212,400 人 (H25)

**事業内容**

- 基幹事業 (2,800 百万円) → 駅東広場 (4,800 m<sup>2</sup>)、駅西広場 (2,300 m<sup>2</sup>)、自由通路 (幅員 6.5m、延長 80 m)、道路 (幅員 4.0~12.0m、延長 1,460m)、駐輪場 (440 台)、駐車場 (100 台)、広場 (3,600 m<sup>2</sup>)、情報板、駅東西広場シェルター
- 提案事業 (400 百万円) → まちなかイベント、まちなか沿道緑化、橋上駅舎



## 地区の現況と課題

- ・当地区は、能美市唯一の鉄道駅機能を持つほか、病院、文化会館などの公共施設のほか、商店が立地し商業組合も組織され、地域生活の根幹を担う地区である。
- ・駅舎や自由通路について老朽化の問題を抱えているほか、駅前広場において歩行者や送迎車が輻輳しており、交通機能の充実が必要である。
- ・駅乗降客数の減少とともに商店数が減少するなど、まちなかが衰退の一途をたどっているため、地域活動の活発化が必要である。
- ・都市計画道路の未整備、側溝の暗渠化が必要な箇所などが存在するため、駅周辺地域における歩行環境の充実が必要である。



商店数が減少しているまちなか

地平駅  
整備前



橋上駅舎  
整備後



### 橋上駅舎整備

老朽化や耐震性に問題を抱えている駅舎について、自由通路の整備に併せ、橋上駅としての整備を行う。自由通路を通じ、現在、東口のみアプローチを東西方向から可能とし、駅を起点とする歩行回遊性の向上に繋げる。

### まちなか沿道修景事業（沿道緑化）

まちなかの賑わい創出に向け、商店街組織が中心となったまちづくり活動の一環として、駅近傍商店街沿道に花壇を設置する。

### まちなかイベント

地元主体によるまちづくり活動の基本となる地域コミュニティの醸成を図るため、実行委員会方式により手作り感のあるイベントを開催する。

## 計画策定プロセス

### 協議会や委員会の設置による事業の推進

- ・寺井駅周辺の整備については、平成17年度より「JR寺井駅周辺整備協議会」を設置し、駅周辺整備基本方針を定めている。この方針の考え方を踏襲した上で、駅周辺整備の事業化に向け、町会の各代表や地元見識者などから成る協議会組織を結成し、さらなる具体的な検討を行っている。
- ・また、中心商店街の代表者などから成る「駅周辺商店街活性化検討委員会」を設置し、まちなかの賑わい創出に向けたソフト事業などについて検討し、前協議会と連携を図りつつ、地元主体のまちづくりの推進に向け、動き出している。



沿道緑化実施風景



駅周辺整備協議会の会議風景